

化合物相の2次元分布を可視化 EPMAによる相解析及びケミカルシフト解析

* EPMA : Electron Probe Micro Analyzer

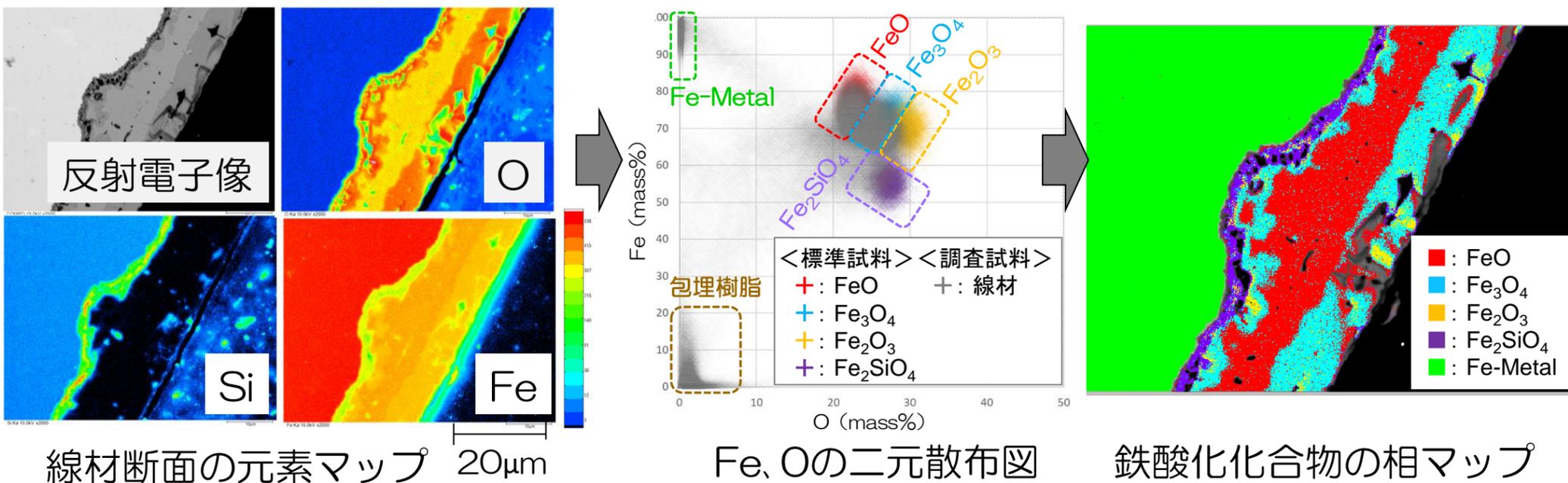
本技術の特徴

- 相解析は、化合物種によって元素マップの強度比が異なることを利用し、未知試料の同定と、その二次元分布を可視化する手法です。
- ケミカルシフト法は、化学結合の種類によって特性X線の波長分布が変化することを利用し、未知試料を同定する手法です。
- 本紙では、熱延鋼線の表面スケールの分析事例を紹介します。

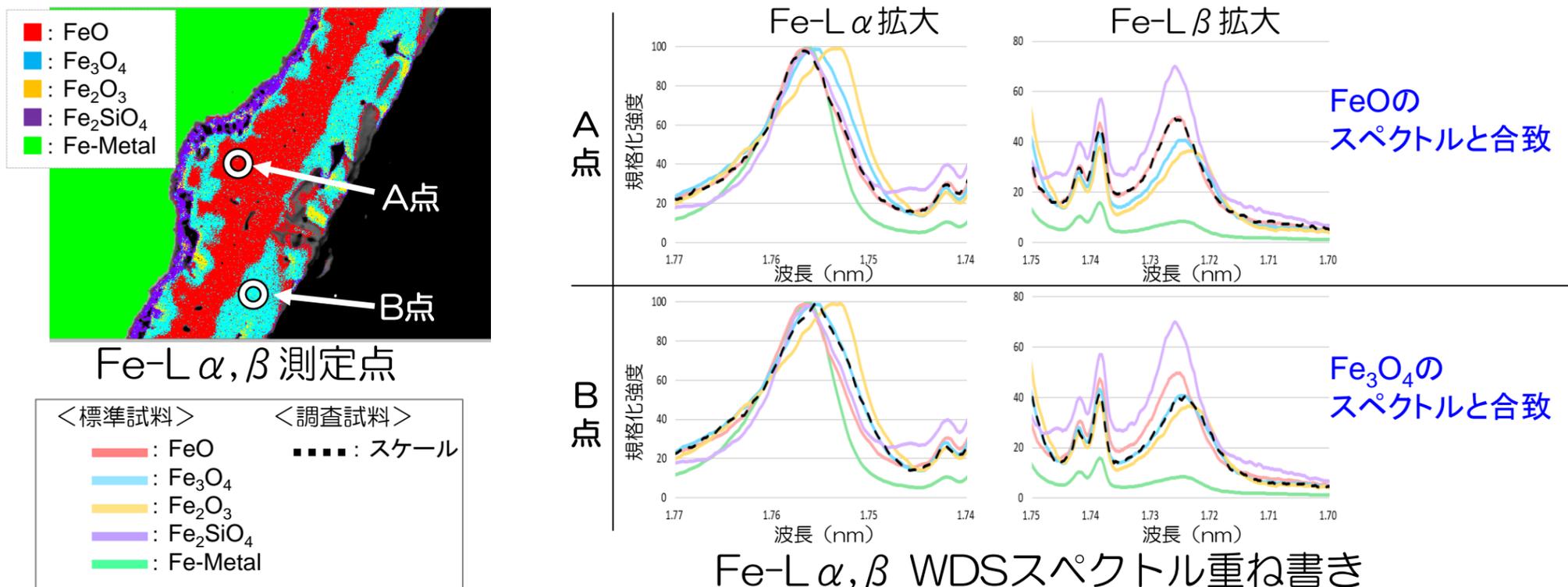


鋼線表面スケール外観

元素マップの元素間強度比から相解析を行い、分布状態を可視化



ケミカルシフト解析に基づく化学結合状態評価



ケミカルシフト解析により、科学的根拠に基づいて化合物を同定することができます。相解析とケミカルシフト解析を併せて行うことで、解析の信頼性が向上します。

